



「第3回 SIA-DAY 高樹のぶ子と浸る台湾！」の開催について

概要

アジア総合政策センターでは、芥川賞作家で、本センターの特任教授である高樹のぶ子氏が、アジアの文学作品を読み、作家と交流し、“アジアに浸る(Soaked in Asia)” ことで感じた世界を「短編朗読」「フォトエッセイ(エッセイ+写真)」「現地映像」「レクチャー」などの様々な方法で発信するマルチイベント「SIA=サイア」の第3弾、台湾編を、3月17日(土)にアクロス福岡で開催します。

- 日時 : 2007年3月17日(土) 13時30分～16時30分(13時開場)
- 場所 : アクロス福岡・円形ホール(福岡市中央区天神1-1-1)
- 内容 : 第1回フィリピン編(2006年3月)、第2回ベトナム編(2006年9月)に続き、第3回は台湾編です。

今回は、少数民族タオ族の作家、シャマン・ラポガン氏がお相手で、「循環するいのち生命」をテーマに開催します。

当日の構成は次のとおりです。

【Ⅰ部】: アジアを漂う島

【Ⅱ部】: シャマン・ラポガンの世界
(休憩)

【Ⅲ部】: 生命に触れる

- 対象等 : 一般市民、大学生
- その他 : ・テキスト代1000円
(テキスト=当日朗読する短編とシャマン・ラポガン氏の情報を掲載した『新潮』4月号)
・事前申込みが必要です。

【お問い合わせ】

アジア総合政策センター

電話: 092-642-4433

FAX: 092-642-4435

Mail: asia@isc.kyushu-u.ac.jp



Soaked in Asia

～アジアの心の情報を発信する～

第3回 SIA-DAY 高樹のぶ子と浸る 台湾!

SIA(サイア)とは、芥川賞作家で九州大学特任教授でもある高樹のぶ子が、アジアの文学作品を読み、作家と交流し、「アジアに浸る」ことで感じた世界を、「現地映像」「フォトエッセイ(エッセイ+写真)」「現地映像」「レクチャー」など様々な方法で発信するマルチイベントです。今回の台湾編では少数民族タオ族の作家シャマン・ラポガンさんがお相手です。

いのち
テーマ「循環する生命」

I部: アジアを漂う島

II部: シャマン・ラポガンの世界
(休憩:おやつSIA)

III部: 生命に触れる



シャマン・ラポガン

高樹のぶ子

◎日 時 / 平成19年 **3月17日(土)**
13時30分～16時30分 (13時開場)

◎場 所 / **アクロス福岡・円形ホール** 福岡市中央区天神1-1-1
●テキスト代1000円(おやつSIA代含む)
(テキスト=当日朗読する短編とシャマン・ラポガン氏の情報を掲載した「新潮4月号」)

◎主 催 / 九州大学アジア総合政策センター



- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 地下鉄天神駅より徒歩2分(16番出口)
- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩7分

要申込み
締切/3月7日(水)必着

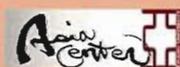
◎申込み方法

①氏名 ②年齢 ③職業(九大生の場合は学部と学年) ④連絡先(住所、Fax/E-mail)を明記してFaxかE-mailで申込んで下さい。御夫婦やグループでのお申込みは、その旨書き添えて下さい。

会場の都合上、参加人数が限定されます。抽選の結果は、FaxかE-mailでお知らせいたします。当日は参加票を持って御来場下さい。

◎申込み先:

E-mail / Faxのいずれかで下記までお申し込みください。(チラシの裏面に申込み用紙あり)



九州大学アジア総合政策センター

- 申込み先 / Fax:092-642-4435 Email:asia@isc.kyushu-u.ac.jp
- 問合せ先 / Tel:092-642-4433 http://asia.kyushu-u.ac.jp

第3回 SIA-DAY

高樹のぶ子と浸る台湾!

—理解を超えて愛するための一日—



2006年9月30日ベトナムSIA-DAY



おやつSIA



RKB「ムーブ2006」、2006年11月26日放送



NHK「週刊ブックレビュー」、2006年11月12日放送

第2回SIAベトナム編はRKBドキュメント「ムーブ2006」のほかNHK「週刊ブックレビュー」の特集でも全国に紹介されました。

第2回SIAベトナム編／2006年11月7日 毎日新聞(東京)より抜粋

九州大アジア総合政策センター特任教授の作家、高樹のぶ子さんの文学交流「アジアに浸る Soaked in Asia」(SIA) 2回目の報告会が福岡市で開かれた。今回はベトナムの女性作家、チャン・トウイ・マイさん(1954年生まれ)とのコラボレーション。恋愛小説の名手同士の顔合わせとなった。

SIAはアジア10カ国・地域の作家や作品に触れ、創作や公開イベントに結びつけるプロジェクト。1回目(今春)はフィリピンの男性作家、グレゴリオ・C・プリヤンテスさん(32年生まれ)が選ばれ、台風が席卷する風土やマンガの「五感」を盛った創作などが反響を呼んだ。

今回も文芸誌「新潮」10月号で短編企画があり、マイさんが「天国の風」、高樹さんが「ジャスミンホテル」をそれぞれ発表。「天国の風」はサイゴン(現ホーチミン市)政府軍士官だった男の失恋と、男の

ベトナムの風を受けて

高樹のぶ子さんの文学交流第2弾

女性作家とコラボレーション

18歳の娘の失恋を描く。それぞれの時代の不如意な恋を重ね合わせることで、「愛」とは何かを問う。

「天国の風」に呼応して書かれた「ジャスミンホテル」は日本の全共闘世代の女性が主人公。

恋愛を切り口に民族の歴史が語られる「天国の風」と向き合った高樹さん。「三十数年を作品に凝縮することができた」と手応えを語る。

報告会は120人の定員に対し270人が応募する盛況。白のアオザイで登場した高樹さんは、血で描かれたホーチミンの横顔の絵画や、理性的な北や情緒的な南などベトナムの国内事情などを紹介。「ベトナムに来て初めて人の心に影響を及ぼす風を実感できた。家庭や結婚など制度に縛られないマイさんの作品は新鮮だった」と語った。

次回SIAは台湾編。来年3月17日に福岡市で発表会を開く。

高樹のぶ子(九州大学特任教授・作家)

「光抱く友よ」で戦後生まれの女性として初めての芥川賞受賞。
「水脈」で女流文学賞、「透光の樹」で谷崎潤一郎賞受賞。
男女の関わりを中心に人間心理の機微を物語性豊かに描く。
映画化・ドラマ化、多数。
芥川賞、三島由紀夫賞、野間文芸賞などの選考委員を務める。
2005年10月から九州大学アジア総合政策センター特任教授。

シャマン・ラポガン

1957年蘭嶼島の生まれ。中国名は施 努来。
少数民族タオ族の作家として、タオの伝統文化と伝承を創作活動の核として、発信しつづけている。今回のSIAでは、海の短編を朗読する。
著書「黒い胸びれ」
『故郷に生きる—リカラツツ・アウー、シャマン・ラポガン集—』
(台湾原住民文学選 第2巻) 草風館 2003年

お申込み

◎送信先/Fax: 092-642-4435

氏名(ふりがな)	年齢	所属(勤務)先 ※九大生の場合は学部と学年
	歳	
連絡先(住所)		(Fax/E-mail)

※抽選の結果はFaxかE-mailでお知らせしますので、どちらかを必ずご記入下さい。(お申込み後、ご参加を取りやめる方は必ずご連絡下さい)